

養護教諭に必要な資質能力と研修ニーズに関する一考察

キーワード：養護教諭、資質能力、研修

○塚原加寿子¹⁾、笠巻純一²⁾、横山知行²⁾、松井賢二²⁾
新潟青陵大学¹⁾ 新潟大学²⁾

I 目的

養護教諭を対象に、養護教諭はどのような資質能力が必要と感じているのか、また、その資質能力を向上させるために、どのような研修を必要としているのかを調査し、養護教諭の資質能力を高める研修についての基礎資料を得ることを目的とする。

II 方法

1. 対象者：A市内の小学校、中学校に勤務する養護教諭8名に、平成26年11月～27年2月に調査をおこなった。主な質問項目は、①属性、②これからの養護教諭に必要な資質能力、③資質能力を高めるために必要な研修である。

2. データ収集：養護教諭の勤務先において、1時間程度の半構造化面接を行い、面接内容をICレコーダーに録音した。録音した面接内容の逐語録を作成し、データとした。

3. 分析方法：逐語録をもとに、文脈に基づき内容を意味ある文章や内容ごとに切片化し、要約したものをコード化した。コードの類似性を検討しながら分類し、小カテゴリーとした。小カテゴリーの内容の類似性に従って分類し、サブカテゴリー、カテゴリーと概念の抽象度を上げていった。

4. 倫理的配慮：調査対象者や所属長の研究協力の承諾を得て調査をおこなった。研究内容・方法及び今回収集したデータ内容は本研究のみに使用すること、匿名性の確保、調査への参加は任意であり、途中辞退が可能なことなどを調査対象者に説明し、同意書への署名により、同意を得た。面接内容は同意を得て、ICレコーダーに録音した。本研究は新潟青陵大学倫理委員会の審査を受け、承認を得て実施した。

III 結果

1. 養護教諭に必要な資質能力

養護教諭に必要な資質能力として81コード、50小カテゴリー、16サブカテゴリーが生成された。そこからさらに、【健康課題解決力】、【専門職としての力量】、【組織マネジメント力】、【人間関係力】、【教員としての基礎的な資質能力】、【学び続ける姿勢】、【前向きに職務を遂行する態度】、【健康力】の8カテゴリーが生成された。

2. 研修ニーズ

養護教諭に必要な資質能力を高める研修へのニーズとして42コード、27小カテゴリー、8サブカテ

グリーが生成された。カテゴリーはさらに、「研修の内容」「研修の方法」「ネットワークづくり」に分類された。「研修の内容」については、【健康課題解決のための研修】、【コーディネート力向上研修】、【コミュニケーションスキル研修】、【専門的力量向上に関する研修】の4カテゴリーが生成された。「研修の方法」については、【他者の実践から学ぶ】と【自主的な研修】の2カテゴリーが抽出された。

IV 考察

養護教諭に必要な資質能力と「研修内容」についてのニーズの関連を見てみると、【健康課題解決力】に対して【健康課題解決のための研修】、【組織マネジメント力】に対して【コーディネート力向上研修】、【人間関係力】に対して【コミュニケーションスキル研修】、【専門職としての力量】に対して【専門的力量向上に関する研修】がニーズとしてあげられていた。コード数に着目すると、【専門的力量向上に関する研修】特に「日常的執務に関する実践力向上研修」についてのコード数が多かった(図1)。

養護教諭は、専門職としての実践力を高める研修についてのニーズが高いことが示唆された。

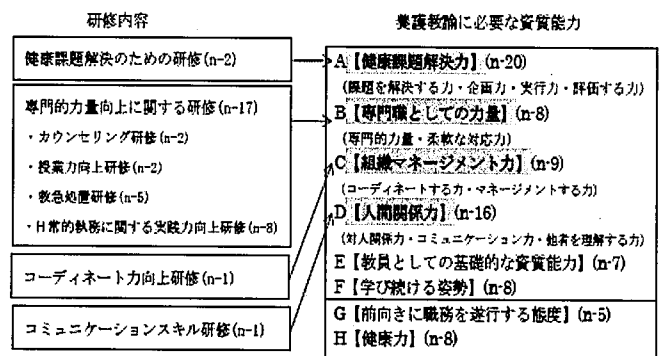


図1 養護教諭に必要な資質能力と研修ニーズの関係

V 結論

養護教諭に必要な資質能力として【健康課題解決力】、【専門職としての力量】、【組織マネジメント力】、【人間関係力】、【教員としての基礎的な資質能力】、【学び続ける姿勢】、【前向きに職務を遂行する態度】、【健康力】の8カテゴリーが生成された。養護教諭は、専門職としての実践力を高める研修についてのニーズが高いことが示唆された。